

第6回連続公開フォーラム「未来につなぐ証言」

【開講あいさつ】連続公開フォーラム「未来につなぐ証言」は、東京大空襲をはじめとする都市無差別爆撃の被災者の証言や当時の記録映画などを通じて、法廷での闘いとはまた異なるチャンネルで、都市空襲の恐ろしさを一般の人たちや学生など若い世代に広く知ってもらうことを主な目的にした都市空襲入門講座です。と同時に、イスラエルによるガザ地区空爆に代表されるように、現代に至っても絶え間なく続く都市空襲の連鎖を断ち切る方法はないものか。また空襲の悲惨さや被災者の心の痛みを次世代にどう伝えていけばいいのかをともに考えることを開講にあたって念願としています。

講座は2010年9月から翌年までの計10回。毎月1回の開講を原則に、空襲体験者の声を聞く5回連続のパートⅠに続き、パートⅡは海外の作品を含め空襲の恐ろしさを描き出した優れたドキュメンタリー映画などを鑑賞、講師の背景説明などをもとに、映像による”証言”から空襲の歴史をともに考える場にしようと企画しました。

日時：7月31日（日）午後1時から（開場は午後零時半）

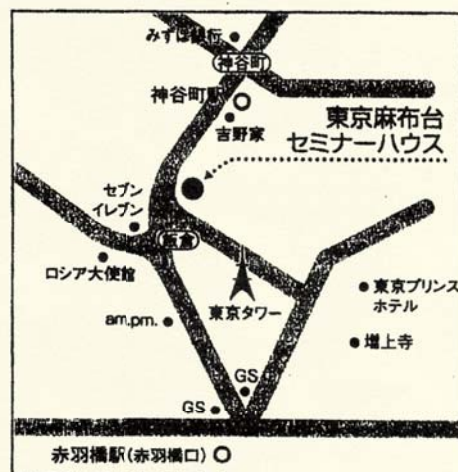
会場：大阪経済法科大学東京麻布台セミナーハウス・2階大研修室（港区麻布台1の11の5、電話03・5545・7789）
地下鉄・日比谷線・神谷町駅下車／1番出口。桜田通りを東京タワー方面へ徒歩5分

講師：柳原伸洋さん
（東大大学院博士課程、専攻＝ドイツ現代史・日本とドイツの空襲研究）

演題：「ドイツ・ドレスデン空襲と東京大空襲」

【内容】1945年2月13～14日、ドイツの古都ドレスデンは、ヨーロッパ最大規模の空襲に見舞われた。その約1か月後、今度は東京大空襲である。6000キロ以上離れた両都市の戦災は、空襲という戦争テクノロジーが地球上を覆い尽くしたことを意味する。「未来につなぐ証言」パートⅡの初回は、ドレスデン空襲の証言を記録した映画を観る。そこでは、戦中・戦後のドイツという鏡を通して空襲を世界史上の問題として考える材料を探し求めたい。

資料代：500円（学生・高校生300円、中学生以下は無料）



主催・都市空襲研究会 協力・東京大空襲訴訟原告団

◆連絡先 東京大空襲訴訟原告団◆

東京都墨田区押上1の33の4の102 TEL・FAX 03(3616)5531